

SPDM支援システム開発

SPDM上の解析フローを支援するためのツールを開発、
手動操作時間の削減や解析結果の視える化を実現！

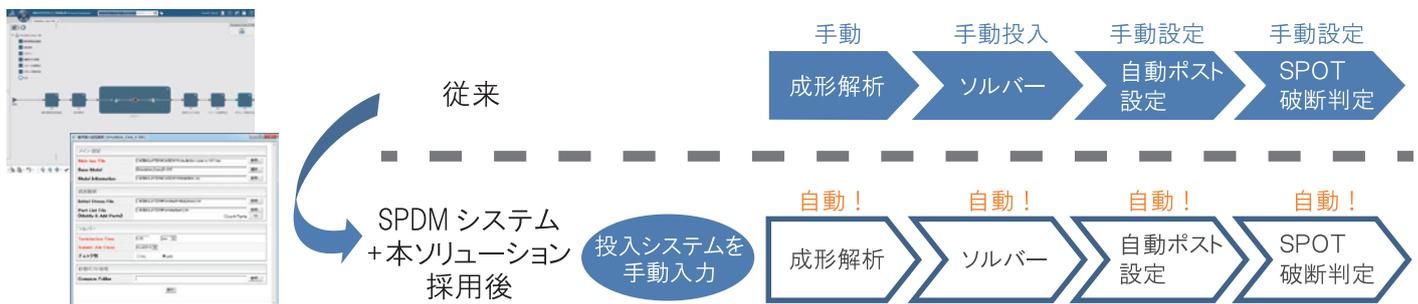
- ・ 検討最終段階で全改修部品を反映した統合モデルがない
- ・ モデルが複雑なため、プリ処理、ポスト処理に時間がかかる
- ・ モデルが大規模なため、ストレージを圧迫する
- ・ 過去のモデルや資料を探すのに半日以上かかる



ソルバー～ポスト処理自動実行プロセス

解析ソルバーからポスト処理の実行までに必要となっていた解析担当者による手入力の設定作業を、解析実施前に一つの画面で行えるようにする設定画面を開発。

手動操作を 3回 → 1回 に、時間が 30分 → 1分 に！



イメージファイル自動登録機能 開発

ポスト処理により生成されたグラフやコンター図の画像ファイルを、SPDMのイメージ確認画面へ自動的にアップロードする仕組みを開発。解析担当者は解析結果に異常が無いかを、SPDMの画面で直接確認することが可能。

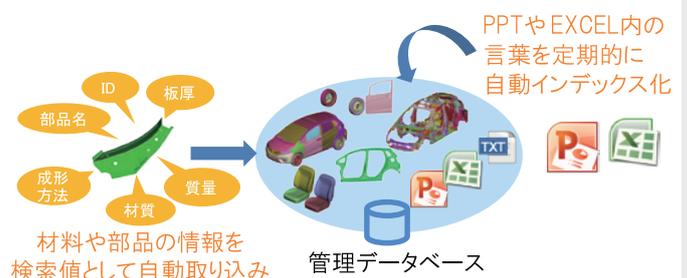
**ポスト処理で生成したイメージを
SPDMの画面で直接確認！**



データへ自動的に検索情報を 付加するシステムの開発

ソルバーの Output ファイルから必要な値を抜き出したり、計算ジョブを投入したユーザーや計算にかかった時間を属性値として SPDM の解析データに対し、自動で反映させるプログラムの開発。解析結果による検索や解析結果を複数並べて比較することが可能に。

検索時間95%削減！



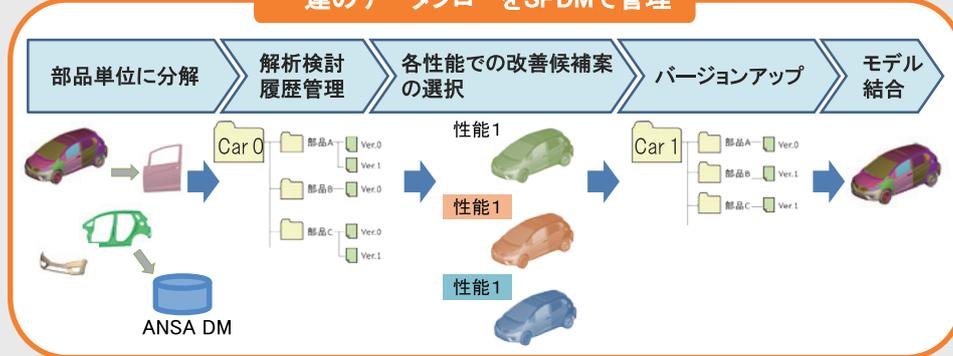
SPDMとANSAの連携

解析業務プロセスの自動化、解析データの一元管理に！
必要な要件をANSAで実現し、SPDMとの連携を可能に！

モデル管理データベースの開発

作業時間 83.6%削減！

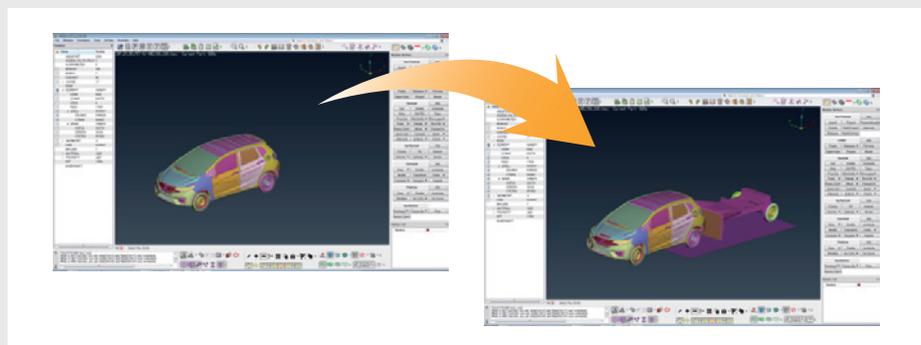
一連のデータフローをSPDMで管理



ANSA を使用しモデルを分解、結合。
部品単位でモデルを管理する事で
他モデルとの共有化を可能とし、
モデル入れ替え時間を大幅に削減。

衝突解析境界条件設定ツール開発

煩雑な境界条件の設定を自動化して、
設定の標準化、作業工数の短縮を実現！



- ・半自動的に項目ごとに設定が可能
- ・材料の変更、重量の設定などの自動化
- ・バリアを目的位置に容易に配置 / 設定
- ・ダミー人形の手元 / 足元を目的位置に容易に配置 / 設定
- ・エアバックを目的位置に容易に配置 / 設定
- ・指定した曲線上に複数の切断面の自動作成



株式会社デジタル・コアサービス (DIGITAL CORE SERVICE Co., LTD.)

〒261-8501 千葉県美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン B 棟 21 階 <http://www.digicore.co.jp/>

TEL: 043-212-2530 FAX: 043-212-2515 MAIL: info@digicore.co.jp

・業務内容

[CAD/CAM] 作業効率化と標準化 ソフトウェア開発 (CATIA)

[CAE/PDM] 解析作業効率化 データ流通効率化 (SPDM, ANSA, HyperMesh, HyperView)

() 内はサービス対象のソフトウェア名となっております。